

グローバルにおける自動車データ管理とクラウドプラットフォーム戦略（2019年）

【概要】

本調査では、自動車クラウドプラットフォームと自動車市場で採用された主要なクラウドアプリケーションについてまとめています。OEMが採用するクラウドプラットフォーム戦略、使用されるビジネスモデル、および主要なクラウド事業者とその基本的特徴に焦点を当てています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2019年です。

【内容一覧】

エグゼクティブサマリー

調査の範囲、目的、および背景

OEMクラウドプラットフォーム：市場動向

- 自動車用IoTプラットフォームのレイヤー-：概要
- グローバルな自動車IoTエコシステム：参入企業
- 自動車クラウドの主要アプリケーション
- OEMのクラウドとデータ管理へのアプローチ
- OEM分析：コネクティビティとクラウドパートナーシップ
- OEMクラウドプラットフォーム分析
- 自動車クラウド：主要事業者の動向
- サービス提供パートナー：主要事業者の動向
- 自動車クラウドプラットフォームの今後の機会

コネクテッドサービス

- 世界のコネクテッドカーの予測
- クラウドを介したコネクテッドサービス

- コネクテッドカーサービスの台頭
- OEMデータ管理戦略：コネクテッドサービス
- コネクテッドサービスの展開モデルの分析
- ケーススタディ：BMW社コネクテッドサービスアーキテクチャ
- ケーススタディ：VW Automotive Cloud社
- ケーススタディ：Daimler社のeXtolloクラウドプラットフォーム

自動運転車：テストと開発

- 2030年までの自動運転車（レベル3 / 4）の市場規模
- クラウドを介した仮想現実の開発
- 未来の自動運転サービス
- OEMデータ管理戦略：仮想現実の開発
- 仮想現実開発に使用される自動車用クラウドプラットフォーム
- ケーススタディ：トヨタ研究所とAWS のIoT
- ケーススタディ：Audi社の仮想現実開発

成長機会と企業への提言

結論

付録

フロスト&サリバンについて